

## 第 24 回 放送番組審議会 議事録

■開催日：2011年4月22日（金）10:00～13:00

■場 所：ジェイコム札幌 会議室

■出席者：番組審議委員8名中5名出席（3名欠席）

- ①山本 強（会長） 北海道大学 大学院 教授
  - ②星野 尚夫（委員） 札幌観光協会 会長
  - ③讚良 美規（委員） ㈱ラ・ウィル 代表取締役
  - ④鏡谷 光司（委員） 元北海道新聞 常務取締役
  - ⑤澁谷 猛（委員） ㈱常口アトム 顧問
- J:COM 札幌 岡田 茂（代表取締役社長）  
坂本 貢（札幌メディアセンター長）  
雨尾 俊英（委員会事務局）

### 記

#### 1. 開会の辞（山本会長）

震災により1ヶ月が経ち、やっと復興の兆しも見え始めている状況の中、CATV コミ c h をはじめ地域 FM 等の地域コミュニティの重要性が改めて注目され、今後も重要度が増していくと思われる。

#### 2. 出席者自己紹介（各委員）

#### 3. 当社社長挨拶（岡田社長）

- ・震災被災者へのお見舞いの言葉、委員会開催の日程変更について報告  
→当初3/15開催予定だったが、震災直後を考慮し本日4/22延期
- ・自己紹介（海外赴任経歴、CATV 業界経歴）

#### 4. 議題

##### （1） J:COM 札幌の加入世帯数報告について

\*TV84, 129、NET48, 750、TEL62, 221 総加入世帯数 106, 466 世帯

\*2010年度及び2011年度コミ ch トピックス

##### （2） J:COM グループ全体の加入世帯数報告について

##### （3） 当社の番組編成について

\*HD 化の拡充、VOD コンテンツの充実、レギュラー番組紹介、特別番組の紹介

\*東京発「北海道物産」通販番組を検討中

\*マガジン5月号よりリニューアル（→書店での販売を検討）

(4) その他の主なトピックス

\*緊急地震速報について

- ・札幌地下歩行空間への緊急地震速報サービス提供報告
- ・端末機器の「携帯 FM ラジオ機能付き」は“顧客視点”からの技術開発（山本会長）

\*社会貢献活動の報告について

\*東京スカイツリー直結タウンへの店舗出展計画について（J:COM すみだ）

(5) コミ ch 広告収入の課題

\*昨今の景気動向から広告収入苦戦 ⇒パチンコや消費者金融業界 CM に関する意見交換

- ・民放では同業界 CM 放送中（時間制限あり）→当社コミ ch では現在 NG（坂本センター長）
- ・即効性という意味では良いかもしれないが、長い目で見ると疑問（讃良委員）

・コミ ch は民放との差別化が重要（山本会長）

・費用対効果重視のため、ディスカバリー ch 某製作所 CM のようにターゲットを絞りこんだ CM 展開が重要 →対象や人数など細かくセグメント分けした展開（山本会長）

→J:COM 札幌では視聴率調査は可能か？（星野委員）

→関東では実施しているが、札幌では端末機器の問題で実施不可（坂本センター長）

\*顧客ニーズにあった営業展開

・スポーツイベントでは参加者や家族、観戦者まで楽しませる事が重要（讃良委員）

→イベント開催の飲食出展規制、週末開催時の周辺飲食店休日など課題

→官公庁スタートのイベントは、民間企業意識を持つべき、観光も同様（星野委員）

・行政や大学などタテ割り社会は、物事に柔軟に対応すべき（山本会長）

→野球ホームゲームや各種講演会などの集客イベント開催時には、タクシー業界ではホテルとの独自情報網により、効率的な営業展開を実施している

→同様に、どの業界でも独自の情報網は持っているはずだが、それらを取りまとめるところがない

→これらの情報網は各業界の活性化につながる →メディアの大切な役割

5. DVD を視聴しながら昼食

- ・コミ ch 「HomeTown さっぽろ」(25 分番組)、及び当社主催イベントニュース（NHK・各民放）

6. 閉会の辞（山本会長）

日本は諸外国と比べて危機管理が遅れている。今回の震災を踏まえて、北海道・札幌市の行政としても今後のシステム作りに大いに反映させてもらいたい。今回の参加者も、各位持ち帰って、危機管理意識をもって災害時対策など有意義な情報交換を実施してほしい。

7. 閉会

以上